

第3号 議案 定款の一部改定の件

以下のとおり、定款を改正いたします。

1.改定の内容

改定案	現行の条文
(役員 責任) 第23条 1~9 (略) 10 (略) (1) 理事 次に掲げる行為 イ 法第31条の9第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略) ロ~ハ (略) 11 (略)	(役員 責任) 第23条 1~9 (略) 10 (略) (1) 理事 次に掲げる行為 イ 法第31条の7第1項及び第2項の規定により作成すべきものに記載し、(略) ロ~ハ (略) 11 (略)

2.改定の理由 会社法が改正されたことに伴い、消費生活協同組合法の改正及び条番号の整備変更が行われ、2021年3月1日に施行されました。これにより、「決算関係書類等の作成等にかかる規定」である法「第31条の7」が「第31条の9」に変更されました。当組合の定款で当該条番号を引用しているため、法令条番号の変更に合わせて変更いたします。

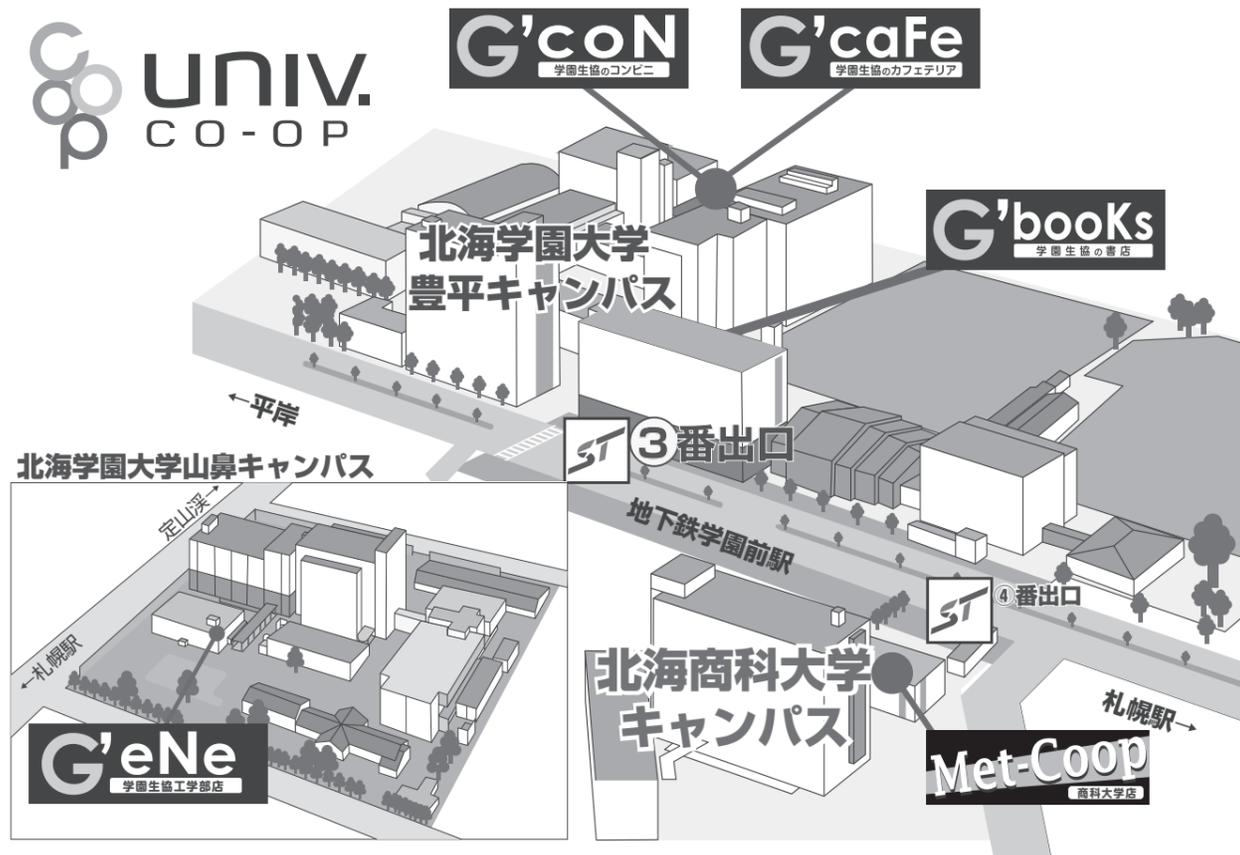
第4号 議案 役員報酬決定の件

役員（理事・監事）の年間報酬については、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬及び退職金に関する規則にもとづいて支給すること、及び各役員の報酬額は理事会の協議に委ねることを決定します。

総額：990万円

第5号 議案 議案決議効力発生の際

議案各号の議決に反しない範囲で字句の修正を理事会に一任します。



北海学園生活協同組合 議案書 2021年度定例総代会 ダイジェスト版

この議案は2021年5月22日に開かれる総代会で審議されます

第1号 議案 2020年度事業報告・決算書類承認の件 (2020年3月~2021年2月)

1.コロナウイルス感染症に伴う変化への対応

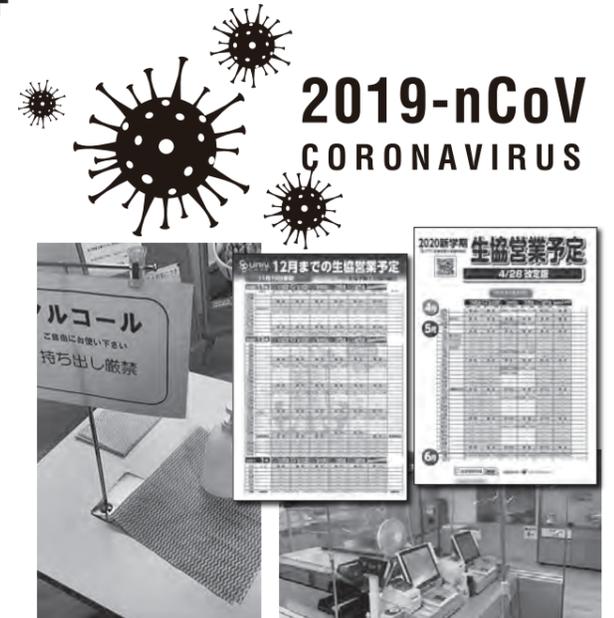
2020年度は入学式の中止以降、4/10からの札幌市集中対策期間には対面授業の全面停止、4月最終から5月いっぱい書籍・工学部を除き全面閉店を余儀なくされました。6月以降も、対面授業はごく一部に限られ、6月2週目から短縮営業での再開となりました。学内人口の減少対応し、ほとんどご利用の無い土曜日の閉店や平日の営業時間を短縮し赤字の圧縮を図りました。店舗では感染対策として消毒液の設備やレジ周りの感染防止シールド、食堂席数の間引きや飛沫プレート設置などを実施しています。下期には再度の緊急事態宣言や集中対策期間が設定され、通常営業に戻れないまま現在に至っています。

2.協同の力で組合員間のコミュニケーションを推進

コロナ禍の中で課外活動も禁止となる中、20年新入生は在宅でのオンライン講義が続き、人の繋がりが作りにくい状況となりました。その中でも生協学生委員会はSNSやオンラインツールを駆使し部会やミーティングを続け、新入学生委員も獲得し、21新入生に向けた新歓冊子の作製や店舗活動も続けることが出来ました。しかし「大学」という場での人の集まりやコミュニケーションが制限される中、組合員間のコミュニケーション推進は困難な状況にありました。

3.「SDG's(持続可能な開発目標)」の観点からの取り組み

国連サミット採択の「SDG's(エス・ディー・ジーズ)」は、これからの社会を生きる学生にとって、行動や判断の指針となるもので、多くの組合員とこれに沿った取り組みの展開を方針化していました。法制化前からレジ袋有料化に取り組みましたが、一方ではコロナ禍により食堂では使い捨て食器や割り箸、小鉢のラッピング等、店舗でも感染対策シールドなどのプラスチック製品を従来以上に使用せざるを得ない環境で、具体的な取り組みを進めることが出来ませんでした。



組合員の利用と決算

2020年度は新型コロナウイルスによるオンライン授業・学内人口減少により、とりわけ日々学内消費される食品・飲料を中心として大きな需要消失となり、総供給高は6億6,000万円となり、前年比3億円・予算比2億6,000万円と大幅な減少となり、伴って供給剰余も予算から半減の9,000万円となりました。

供給高の減少に伴い手数料収入も減少、事業総剰余も4割減少し1億3,000万円となりました。

大学の施策に対応しながら営業時間の短縮や休業指定等の対策をとり費用の削減を図ってきましたが、こうした環境がいつまで続くのか見通しが立たず、正常化に備え雇用の維持も必要なため、雇用調整助成金等の制度を申請しつつ、一定の給与保障をしながらも人件費で2,700万円の削減となりました。物件費は削減を図りながらも、感染対策費用が新たに発生しており、利用減少に伴う経費自然減も含め1,300万円の削減に止まりました。

店舗部門別では、とりわけ食堂部門の赤字幅が大きい事と、購買で利益率の高い学内消費食品・飲料の減少により工学

部・商科大を含め大きな赤字となっています。一方で非学内消費の「学び」カテゴリでは、教科書の伸張・新学期PC教材も予算達成するなど、コロナ禍の影響を最小化できています。旅行需要の消失や、自動車学校入校制限の影響もありながら、G'bookS単独で5,000万円の黒字を計上しています。

供給を計上しない本部には、政府・自治体からの持続化給付(約230万円)や事業連合緊急経営支援金(790万円)、雇用調整助成金等が事業外収益に一括計上されることにより、赤字幅が削減されています。

本年度予算策定の最終段階で、19年度卒業式の中止(約1,600万円の20年度供給消失)など、一部新型コロナウイルスによる影響を反映したため、元々426万円の赤字予算としていましたが、それを543万円下回る969万円の最終赤字を計上しています。

税引き後、前年度繰越剰余金138万円を差し引いた836万円が当期損失金となります。

2020年度分類別供給実績

単位：千円

	前年	予算	実績	前年差異	前年比	予算差異
合計	964,486	923,990	661,962	▲302,524	68.6%	▲262,028
文具サプライ	22,815	20,719	17,894	▲4,921	78.4%	▲2,825
食品菓子	32,810	32,958	6,895	▲25,915	21.0%	▲26,063
パン米飯	37,142	36,888	4,285	▲32,857	11.5%	▲32,603
飲料デザート	53,704	53,438	9,955	▲43,749	18.5%	▲43,483
自動販売機	13,968	0	39	▲13,929	0.3%	39
コピー	4,302	3,774	3,575	▲727	83.1%	▲199
ギフトカード	10,806	10,915	11,032	226	102.1%	117
情報機器	136,823	150,998	161,515	24,692	118.0%	10,517
PCソフト	9,726	7,650	10,114	388	104.0%	2,464
新学期用品	649	500	1,532	883	236.1%	1,032
卒業貸衣料	0	0	0	0	0.0%	0
購買その他	13,157	12,175	9,779	▲3,378	74.3%	▲2,396
購買計	335,902	330,015	236,615	▲99,287	70.4%	▲93,400
自動車学校	230,302	222,965	193,030	▲37,272	83.8%	▲29,935
海外旅行	44,412	37,300	2,767	▲41,645	6.2%	▲34,533
国内旅行	24,625	22,130	2,184	▲22,441	8.9%	▲19,946
旅行その他	2,919	3,900	188	▲2,731	6.4%	▲3,712
SV計	302,258	286,295	198,169	▲104,089	65.6%	▲88,126
専門書店売	8,176	8,225	6,891	▲1,285	84.3%	▲1,334
文庫・新書	2,024	1,580	900	▲1,124	44.5%	▲680
雑誌	2,868	1,580	2,393	▲475	83.4%	813
教科書	83,369	83,585	76,573	▲6,796	91.8%	▲7,012
研究者売掛	20,633	19,700	22,452	1,819	108.8%	2,752
書籍その他	3,148	1,665	1,092	▲2,056	34.7%	▲573
学内講座	47,766	46,090	41,664	▲6,102	87.2%	▲4,426
学外講座	50,465	40,870	42,461	▲8,004	84.1%	1,591
書籍計	218,449	203,295	194,426	▲24,023	-3.9%	▲8,869
食堂メニュー	102,927	102,326	31,992	▲70,935	31.1%	▲70,334
コンパ	4,950	2,059	760	▲4,190	15.4%	▲1,299
食堂計	107,877	104,385	32,752	▲75,125	4.0%	▲71,633

2020年度決算

単位：千円

	19実績	20予算	20年決算	予算対比	前年対比
供給高	964,486	923,990	661,909	71.6%	68.6%
供給剰余	172,656	161,643	90,488	56.0%	52.4%
供給剰余率 %	17.90%	17.49%	17.49%	0.00%	-0.41%
共済収入	9,559	10,082	10,837	107.5%	113.4%
供給手数料収入	0	16,631	15,286	91.9%	#DIV/0!
手数料収入	25,952	14,689	13,363	91.0%	51.5%
事業総剰余金	208,167	203,045	129,974	64.0%	62.4%
事業経費合計	212,993	215,809	175,096	81.1%	82.2%
人件費	108,223	118,176	90,855	76.9%	84.0%
物件費	82,539	73,906	60,470	81.8%	73.3%
共同運営費	22,231	23,727	23,771	100.2%	106.9%
事業剰余	▲4,826	▲12,764	▲45,122	353.5%	935.0%
事業外収入	13,076	11,701	27,363	233.9%	209.3%
事業外費用	4,614	3,198	4,035	100.0%	87.5%
経常剰余	3,636	▲4,261	▲21,794	511.5%	-599.4%
特別損益	0	0	12,103	0.0%	0.0%
税引前剰余	3,636	6,147	▲9,691	-157.7%	-266.5%
法人税等			47		
			▲9,738		

当期剰余

第2号 議案

2021年度事業計画及び予算決定の件

(2021年3月~2022年2月)

1. 新型コロナウイルス感染症に伴う変化への対応

毎日多数の学生が登校し学内で消費経済活動が行われてきた枠組みの生協事業では、当面は赤字幅の削減を図りながら雇用も維持する必要があり、食堂・店舗の効率化を図ることが必要です。

2. 学内消費ではない分野での組合員要求に応える事業を拡大・強化します

大学内の教室に登校できなくとも、「学び」は継続して続けられています。資格講座等もオンライン化が進んでいます。また、旅行や留学に行けない環境の中で、オンラインでの体験や経験を実現するオンライン留学などの造成も大学生協全体で進めています。オンラインでの学びにはデバイスも不可欠なので、これら情報機器の提供・サポートも重要な事業となっています。

3. 協同の力で組合員間のコミュニケーションを推進します

人が対面で多数集まる事が出来ない環境の中で、人と人のコミュニケーションを絶やさないため、バーチャルやオンラインを活用したコミュニケーションの場作りを進めます。

事業予算

2021年度も新型コロナウイルス感染の終息時期が見通せない状況の中、19年水準への学内人口回復は現実的ではないとの前提で、厳しい見通しでの予算策定としています。学内人口による影響の大きい購買の最寄り商品カテゴリーは、昨年は完全閉店状態も1ヵ月近くあったので、前年比では伸張予算となっています。自動販売機は昨年同期から手数料計上に変更となり、供給予算計上しません。情報機器では、新学期教材は前年水準、校費では昨年のオンライン講義初年度の特需がなくなる事から一昨年水準の予算としています。

損益では、事業分野別の構成比変化により、供給剰余は伸張予算となり、人件費は本年並を維持、物件費では感染対策コストが引き続きかかるため前年比での増加を見込んでいます。事業連合委託費は実績の90%、政府給付金などが見込めないことから、約1,200万円の赤字予算としています。

2021年度予算

単位：千円

	20予算	20年決算	21予算	前実対比	前予対比
供給高	923,990	661,909	748,691	113.1%	81.0%
供給剰余	161,643	90,488	123,255	136.2%	76.3%
供給剰余率 %	17%	17.49%	17%	0.00%	0.00%
共済収入	10,082	10,837	10,620	98.0%	105.3%
供給手数料収入	16,631	15,286	13,960	0.0%	83.9%
手数料収入	14,689	13,363	13,485	100.9%	91.8%
事業総剰余金	203,045	129,974	161,320	124.1%	79.5%
事業経費合計	215,809	175,096	181,295	103.5%	84.0%
人件費	118,176	90,855	93,487	102.9%	79.1%
物件費	73,906	60,470	66,334	109.7%	89.8%
共同運営費	23,727	23,771	21,474	90.3%	90.5%
事業剰余	▲12,764	▲45,122	▲12,764	28.3%	100.0%
事業外収入	11,701	27,363	9,900	36.2%	84.6%
事業外費用	3,198	4,035	2,140	100.0%	66.9%
経常剰余	▲4,261	▲21,794	▲12,215	56.0%	286.7%
特別損益	0	12,103	0	0.0%	0.0%
税引前剰余	▲4,261	▲9,691	▲12,215	126.0%	286.7%
法人税等					



2021年度分類別供給予算

単位：千円

	前年実績	予算	伸張率
合計	661,962	748,691	113.1%
文具サプライ	17,894	14,849	83.0%
食品菓子	6,895	9,615	139.4%
パン米飯	4,285	10,980	256.2%
飲料デザート	9,955	16,916	169.9%
自動販売機	39	*0	
コピー	3,575	2,315	64.8%
ギフトカード	11,032	10,840	98.3%
情報機器	161,515	150,960	93.5%
PCソフト	10,114	9,960	98.5%
新学期用品	1,532	*0	
卒業貸衣料	0	14,726	0.0%
購買その他	9,779	9,270	94.8%
購買計	236,615	250,431	105.8%
自動車学校	193,030	224,200	116.1%
海外旅行	2,767	0	0.0%
国内旅行	2,184	3,000	137.4%
旅行その他	188	30	16.0%
SV計	198,169	227,230	114.7%
専門書店売	6,891	6,455	93.7%
文庫・新書	900	1,475	163.9%
雑誌	2,393	2,705	113.0%
教科書	76,573	75,280	98.3%
研究者売掛	22,452	22,120	98.5%
書籍その他	1,092	3,480	318.7%
学内講座	41,664	78,295	187.9%
学外講座	42,461	3,282	7.7%
書籍計	194,426	193,092	99.3%
食堂メニュー	31,992	77,938	243.6%
コンパ	760	0	0.0%
食堂計	32,752	77,938	238.0%